

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

太宰府市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

福岡県太宰府市

3 地域再生計画の区域

福岡県太宰府市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の総人口は一貫して増加しており、住民基本台帳では 2021 年 4 月末時点で 71,847 人となっています。しかし、高齢化による人口減少は本市においても例外ではなく、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2025 年の 73,580 人をピークとして、その後減少し、2045 年には 70,656 人、2060 年には 67,279 人まで減少することが見込まれています。

本市の年齢 3 区分別の推移をみると、生産年齢人口は 2000 年の 46,351 人をピークに減少に転じており、2015 年には 42,890 人となっています。年少人口は 2000 年の 8,948 人まで減少した後、ほぼ横ばいとなり、2015 年には 10,549 人となっています。老年人口は 2000 年に 10,188 人であったが、2015 年には 18,729 人と急激に増加しており、今後 2050 年まで増加することが見込まれています。

本市の自然動態をみると、自然増の状況が続いていましたが、2011 年以降その規模は縮小し、2019 年には 96 人の自然減となっています。

本市の社会動態をみると、概ね転入超過の状況が続いており、2019 年には 268 人の社会増となっています。世代別の人口動態をみると、2014 年の 20 歳から 24 歳の人口は 3,260 人でしたが、5 年後の同世代の人口は 2,972 人となっており、大学等の卒業時と子育て世代の流出が特に大きい状況にあります。

本市の人口分析を行った結果、主な特徴は次の 2 点であり、これらについて次のとおり課題を整理しました。

①概ね転入超過であるが、大学等の卒業時と子育て世代で転出超過となっていること。

②生産年齢人口が減少に転じる中、老年人口が急増していること。

この状況が続くと、人口減少及び生産年齢人口の減少により地域経済が縮小され、生活関連サービスの維持が困難になるといった課題が生じます。

上記の課題に対応するため、①に関しては、大学等の卒業時及び子育て世代の世帯の転出を抑制するため、本市における雇用の質及び量の向上、また生活環境の整備や交通環境の向上が求められます。さらに、保育所の整備をはじめ、企業における職場環境の整備など、官民一体となった子育てしやすい環境の整備が求められます。

②に関しては、多くの歴史的文化遺産等の地域資源を活かして、高齢者が元気で地域の課題解決の担い手となるなど、地域経済を活性化するとともに、地域課題の解決に向けた高齢者の活用に加え、豊富な経験をもつ高齢者の企業における活用促進も求められます。

さらに、高齢者人口の増加に伴い、医療福祉ニーズが高まることが予想されるため、若年層に魅力ある医療福祉分野の雇用の場、雇用環境の整備を図ることも求められます。

これらの課題に対応するため、本計画期間中、次の事項を基本目標に掲げ、人口を確保することを目標とします。

- ・基本目標 1 太宰府の底力総発揮構想
- ・基本目標 2 太宰府型全世代居場所と出番構想
- ・基本目標 3 令和発祥の都にふさわしい大太宰府構想
- ・基本目標 4 1300 年の歴史に思いを致す持続可能な太宰府構想

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	個人市民税納税者数	34,336 人	37,000 人	基本目標 1
	法人市民税納税法人数	1,535 法人	1,650 法人	

	域内付加価値	47,713 百 万円	50,000 百 万円	
イ	子育てをしやすいと感じる 保護者の割合（「しやすい」 又は「どちらかといえばしや すい」の割合）【市民意識調 査】	68.0%	75.0%	基本目標 2
	生きがいを感じている高齢 者の割合（「感じている」又 は「どちらかといえば感じて いる」の割合）【市民意識調 査】	78.3%	80.0%	
ウ	住みやすいと感じる市民の 割合（「住みやすい」又は「 どちらかといえば住みやす い」の割合）【市民意識調査 】	73.3%	80.0%	基本目標 3
エ	本市に住み続けたいと感じ る市民の割合【市民意識調査 】	64.3%	80.0%	基本目標 4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

太宰府市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 太宰府の底力総発揮事業

イ 太宰府型全世代居場所と出番事業

ウ 令和発祥の都にふさわしい大太宰府事業

エ 1300 年の歴史に思いを致す持続可能な太宰府事業

② 事業の内容

ア 太宰府の底力総発揮事業（成長戦略）

太宰府市は太宰府天満宮を始めとする名所や、令和発祥の地となった大宰府政庁跡などの価値ある史跡、5つもの大学・短大など他市を圧倒する多くの歴史的文化的資源を有し、活気ある福岡市のベッドタウンにも位置する魅力あふれる都です。民間活力の活用を始めあらゆる手段を知恵を駆使して総結集し、本市が本来の底力を遺憾なく発揮することで、「令和発祥の都」としてさらに羽ばたき、我が国そして地方の牽引役にふさわしい役割を果たします。

【具体的な事業】

- ・回遊ルートの整備、滞在型観光の促進
- ・地場みやげ産業の創出 等

イ 太宰府型全世代居場所と出番事業

太宰府市は近隣に比べ高齢化率が高く、一方で学生が多く集う市でもあります。また活力ある福岡市のベッドタウンであり、令和効果により居住意欲度も上昇中で、子育て世代の自然増や社会増も期待できます。こうした現状を踏まえ、かつてこの地が舞台となった万葉集の精神にもならい、全世代が居場所と出番を持てる本市ならではの心温まるまちづくりを進めることで、日本一住みやすく世界一元気な都を目指します。

【具体的な事業】

- ・先進的な教育環境等の整備・充実
- ・介護予防事業の充実 等

ウ 令和発祥の都にふさわしい大太宰府事業

太宰府市は太古から世界・アジアの玄関口として、我が国・西日本・九州の政治・外交・防衛の要衝として栄えた歴史を持ち、当時の大宰帥大伴旅人による梅花の宴の様子を描いた万葉集より新元号令和が生まれました。時空を超えてこの地を捉え直し、令和発祥の都にふさわしい大

きな視点で史跡の維持保存・活用や国際交流、地域間連携を考えることで、交流人口、関係人口の拡大による経済効果上昇や交通手段の充実に踏み出します。

【具体的な事業】

- ・ 太宰府関連史跡の整備・再整備の推進
- ・ 交通の回遊促進 等

エ 1300 年の歴史に思いを致す持続可能な太宰府事業

令和発祥の都太宰府が歩んできた 1300 年を超える国際的、文化的都市としての悠久の歴史に思いを致し、次なる 1300 年後までその時の流れと令和の慶びを伝えていくため、本市ならではの防災力の強化、市街地の活性化、公共施設や諸団体などの再編、見直し、地域コミュニティの強化・再編、ごみ減量を始めとする環境負荷低減、ICT活用などによる行財政改革を進め、持続可能なまちづくりを推進してまいります。

【具体的な事業】

- ・ 災害に強いまちづくりの推進
- ・ ICT を活用した市民サービスの利便性の向上 等

※なお、詳細は太宰府市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4 の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

100,000 千円（2021 年度～2024 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCA サイクル）

毎年度 9 月に計画の着実な推進に向け、市民や各種団体等の参画を得て太宰府市総合戦略推進委員会の中で、各取組などの調査、検証を行い、その結果に基づく見直し改善を図りながら必要に応じて総合戦略を改訂し、持続可能なまちの創造に向けて、より一層の挑戦を続けます。結果は速やかに市公式ウェブサイト公表します。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで